

## 地域・職域連携共同モデル事業実施状況

二次医療圏または保健所	岩見沢保健所	置賜郡総合支庁保健福祉環境部(置賜保健所)	県北保健福祉事務所
事業実施地域総人口	30,161人(平成13年10月1日)	243,957人	355,429人
事業実施市町村	美唄市	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町	6市町(福島市、伊達市、梁川町、保原町、東和町)
事業実施地域内の事業所、労働者数	1,370ヶ所 12,381人	220ヶ所、4,628人	8事業所・184人
モデル事業実施の目的	北海道においては、小規模事業所が職域の多数を占めていることから、特に小規模事業所を対象とした健康づくりに関する課題や問題点の整理、意識啓発などを図ることを目的とした地域・職域連携共同モデル事業を実施し、それらの結果を踏まえ、今後の全道域における地域・職域連携の推進方を検討する。	県民の健康寿命の延伸と壮年期死亡の減少を目指し、「健康文化やまがた21」が策定されたが、特に働き盛りの中高年期にがんや自殺の死亡率が高く、職域における健康づくりの推進が重要な課題になっている。このような状況の中、職域における健康状態を把握し、市町村や保健所等で実施している保健サービスと、職域で実施している保健事業について情報交換しながら、連携を取り合って、生活習慣病の予防に向け、効果的・効率的な健康づくりを推進することを目的とする。	県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会を設置し、連絡体制整備を図ったところであり、産業保健と地域保健の協同による保健事業を実施し、連絡会の定着・推進を図るとともに、より有効性を高めるため、役割・機能のあり方を明確にし、地域支援体制の強化を図ること
地域職域連携推進協議会の設置場所、参加機関	岩見沢保健所に設置 地域：美唄市、岩見沢保健所、北海道保健福祉部 職域：商工会議所、農業協同組合、地域産業保健センター、事業所代表者、社会保険事務所、労働基準監督所 その他：医師会、看護協会、栄養士会、	置賜保健所に設置 地域：保健所、市町村 職域：産業保健推進センター、産業保健センター、商工会議所、商工会、労働基準協会、関係企業 その他：医師会、結核成人病予防協会、大学医学部	県北保健福祉事務所設置(県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会) 地域：県北保健福祉事務所(保健所)、各市町村健康づくり担当係 職域：福島地域産業保健推進センター、福島・郡山地域産業保健センター、福島・二本松商工会議所、福島県商工会連合会、福島県労働者団体、福島労働基準監督署、産業医、福島労働基準協会、社会保険健康事業財団福島支部、福島県国民健康保険団体連合会 その他：福島県立医科大学
地域職域連携推進協議会の運営状況	①平成15年9月：モデル事業概要説明、事業実施要綱及び協議会運営要綱について 他 ②平成15年12月：事業所健康管理実態調査結果について、出前健康教育について 他 ③平成16年3月：事業経過報告について、報告書について ④保健指導部会：計6回	①15年10月：モデル事業に係る事業計画について、連携事例について他 ②平成16年3月：モデル事業の実施報告及び平成16年度の連携事業について、連携の具体的方向性について ③実務者レベルのワーキング委員会(5回開催)	①平成15年7月：職域における推進事業について、企業における健康づくりの実態調査の実施について ②平成15年11月：企業における健康づくりの実態調査の結果報告、実態調査結果に基づく健康づくり施策の展開について ③平成16年3月：企業における健康づくり実態調査の結果報告、地域・職域における健康づくり施策の今後の取組について
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・職域連携推進協議会</li> <li>協議会保健指導部会</li> <li>小規模事業所における健康管理実態調査</li> <li>出前健康講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県北地区産業保健・地域保健連携推進連絡会の開催</li> <li>産業保健と地域保健との協同による健康講座の開催</li> <li>研修会の開催</li> <li>健康講座に関する健康管理・健康意識調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域保健・職域保健連携推進連絡会議(推進協議会)</li> <li>実務者レベルのワーキング委員会</li> <li>小規模事業所における健康管理実態調査</li> <li>地域・職域連携推進フォーラムの開催</li> <li>事業所での健康教室・ワークショップの開催</li> <li>「働くあなたのための健康ワンポイント」ミニポスターの作成</li> </ul>

二次医療圏または保健所 事業実施地域総人口	中部厚生センター 34,208人	岐阜地域保健所 396,939人(平成14年10月1日現在)	半田保健所・美浜支所、知多保健所 579,478人
事業実施市町村	滑川市	羽島市、各務原市、 羽島郡(岐南町、川島町、笠松町、柳津町)、 瑞穂市、本巣市、本巣郡北方町、山県市	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
事業実施地域内の事業所、 労働者数	対象事業者数:147社 対象従業員数:3,695人	18,665ヶ所(平成15年2月1日現在)	23,443ヶ所 226,352人(平成13年)
モデル事業実施の目的	地域保健と職域保健の関係者による職域における健康づくり推進事業連絡会を設置し、職域保健を中心とした健康づくりや健康管理の実態を把握する都同時に、健康問題や課題を共有し、連絡を図りながら、健康づくり支援体制の構築を図ること	「健康日本21」を推進するため、岐阜県でも「ヘルスプランぎふ21」を策定し、その強化策として「健康障害半減計画」を打ち出した。この計画を推進するため、地域・職域の健康づくり・健康管理の実態を把握し、岐阜地域の健康課題「健診の推進」「たばこ対策」「食生活・栄養」「健康づくりのための運動の促進」を中心に、効果的・効率的な活動を普及啓発するとともに、地域と職域の連携を密にすることより、地域の保健医療資源の有効活用を図り、地域全体の自主的な健康づくり活動を支援する。	平成14年度に実施した地域・職域連携共同モデル事業の継続事業として、地域・職域連携推進協議会を開催し、健康教育等の保健事業を相互に活用及び共同で実施するため、モデル事業所における連携事業の実施状況に基づき、問題点等を把握し、今後の地域・職域保健連携システムのあり方を探る
地域職域連携推進協議会の設置場所、参加機関	中部厚生センター設置(職域における健康づくり推進事業連絡会) 地域:中部厚生センター(保健所)、滑川市健康づくり担当係、滑川市健康づくり推進協議会委員、健康づくりボランティア連絡協議会 職域:魚津地域産業保健センター、滑川市商工会議所、滑川市商工会議所中小企業相談所、事業所、検診事業所代表、 その他:滑川市医師会、県栄養士会、富山医科薬科大学	岐阜地域保健所に設置 地域保健:地域保健所、市町村(保健、国保) 職域保健:産業保健推進センター、労働基準監督署、商工会議所、社会保険事務所、 その他:医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、食生活改善協議会、食品衛生協会、老人クラブ連合会、PTA連合会、保育研究協議会、生活学校、社会福祉協議会、教育振興事務所、福祉事務所	地域:保健所、市町村 職域:労働基準監督署、地域産業保健センター、商工会議所、商工会、国民健康保険組合連合会 その他:医師会、歯科医師会、学識経験者、健康増進機関
地域職域連携推進協議会の運営状況	①平成15年7月:職域における推進事業について、企業における健康づくりの実態調査の実施について ②平成15年11月:企業における健康づくりの実態調査の結果報告、実態調査結果に基づく健康づくり施策の展開について ③平成16年3月:企業における健康づくり実態調査の結果報告、地域・職域における健康づくり施策の今後の取組について	①平成15年9月:「健康障害半減計画」の概要、「健康障害半減計画」に関する保健所実施事業(圏内の健康指標他)について ②平成16年3月:「健康障害半減計画」に関する保健所実施事業(調査結果他)について、各団体の健康づくり事業の取組について	①平成15年12月:連携についての具体案の進捗状況、モデル地区での実践について、ワーキンググループ検討内容について ②平成16年3月:モデル事業所の取り組みのまとめ、報告書の内容について、来年度の取り組みについて他 ③ワーキンググループ(計5回実施)
事業内容	・職域における健康づくり推進事業連絡会の開催 ・検討会の開催 ・企業における健康づくり実態調査の実施 ・健康教室(ヘルスアップカレッジ)の実施	・地域・職域連携推進会議 ・事業所における健康づくり事業の実態調査と支援希望調査 ・「ヘルスプランぎふ21」協力団体の健康づくり事業支援可能調査 ・支援希望事業所における支援可能調査 ・小規模事業所に対する事業の広報・啓発活動 ・中小企業団体への健診実態調査及び啓発事業 ・特色ある健康づくり実施事業所の資料作成調査 ・健康増進施設調査・マップ作成 ・地域における分煙推進状況調査 ・喫煙による汚染濃度調査 ・健康な食環境づくり事業	・地域・職域保健連携促進事業事前調査 ・南知多産業まつりへの取り組み ・朝の目覚め体操の普及 ・地域・職域連携推進協議会の開催 ・講演会の開催

二次医療圏または保健所	四日市保健所	防府健康福祉センター(防府環境保健所)	東部保健所
事業実施地域総人口	361,100人	125,136人(平成15年4月1日)	北川村(1,591人)、安芸市(21,321人)、室戸市(19,472人)
事業実施市町村	四日市市、菟野町、楠町、朝日町、川越町	防府市 徳地町	北川村、安芸市、室戸市
事業実施地域内の事業所、労働者数	地域:四日市市、菟野町、楠町、朝日町、川越町 職域:八千代工業 他8カ所 その他:幼稚園等教育機関6カ所	5934ヶ所 50,618人 (平成13年事業所・企業統計調査)	北川村(2事業所・61人)、安芸市(1事業所・31人)、室戸市(健康まつり参加者)
モデル事業実施の目的	生涯にわたり、いかなる立場・条件であっても、個人が健康づくりの支援サービスを地域・職域を問わず利用でき、その情報が職域・地域で共有できる仕組みを構築し普及させる	生涯を通じた継続的な健康づくりの推進を図るため、地域・職域連携による、小規模事業所等を対象とした効率的・効果的な保健事業をモデル的に実施する。	地域保健と職域保健関係者が連携することにより、地域保健資源を活用し、産業医等のいない小規模事業所の健康づくり支援対策を実践することにより、生涯を通じた健康づくりを推進する。
地域職域連携推進協議会の設置場所、参加機関	四日市保健所に設置 地域:四日市市保健センター、菟野町保健センター、四日市保健所 職域:四日市市商工会議所、四日市市産業保健センター、八千代工業(株)四日市製作所 その他:四日市市教育委員会学校保健課	防府健康福祉センター(防府環境保健所)に設置 地域:健康福祉センター(保健所)、市町村 職域:地域産業保健センター、商工会議所、商工会、事業所、労働基準監督署 社会保険事務局、 その他:医師会、歯科医師会、薬剤師会、大学医学部、大学看護学部	東部保健所に設置 地域:健康福祉センター(保健所)、管内9市町村の保健主幹課長 職域:安芸・香美地域産業保健センター、商工会議所、商工会、事業所、安芸労働基準監督署、土佐あき農協
地域職域連携推進協議会の運営状況	第1回:「私の健康手帳」活用及び評価の方向性について 第2回:「私の健康手帳」の修正、普及及び評価について	①平成15年8月 ②平成15年11月 ③平成16年2月:事業計画全体についての協議及び承認、とりまとめ、共同保健事業・研修事業について等 ④作業部会(計10回開催)	①平成15年7月 講演、協議内容:広報活動、環境診断サービス事業、補助金制度等 ②平成16年2月 講演、協議内容:活動報告、具体的な健康づくり対策について、来年度の取組について
事業内容	パーソナルコンピューターの普及に伴い、電子媒体を用いて誰もが容易に入力でき、健康情報の提供が可能なシステム(様式:私の健康手帳)の試作とその手帳のモニタリング	・共同保健事業「出前“元気な職場づくり”」 ・健康づくり研修会	・体力測定(健康年齢評価事業) ・体力測定及びウォーキング指導 ・たばこ対策に関する指導 ・騒音対策に関する指導 ・腰痛予防に関する指導 ・飲酒についての指導

地域・職域連携共同モデル事業ヒアリングについて

○モデル事業実施自治体 9自治体に対し実施する  
第2回検討会に実施する

○タイムスケジュール

1自治体 20分(説明10分 質疑応答10分)

前半5自治体(100分)

休憩(10分)

後半4自治体(80分)

計 3時間10分程度

○ヒアリング項目(案)

1 連携に関する協力状況

- ・職域関係者
- ・地域(都道府県、市町村)関係者
- ・その他

2 連携推進協議会の運営状況

- ・協議会の役割
- ・協議事項

3 地域・職域連携共同事業の実施状況

4 連携を進める上で工夫した点や問題点、課題

5 今後の事業計画及び課題

6 地域・職域連携による効果